

令和元年9月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
1	杉山 広 充	1. 教育行政に関して【平成31年3月議会関連事項】	町 長 教育長
		2. 小・中学校教育に関する保護者の声の吸い上げについて【平成31年3月議会関連事項】	町 長 教育長
		3. 「学校の再編」について	町 長 教育長
2	山本 信 之	自治体財政状況について	町 長
3	中 原 緑	1. 本川根診療所の休院後の対応について	町 長
		2. 子育て世代の定住化について	町 長
		3. 川根高校関連における経費について	町 長 教育長
4	野口 直 次	1. 今後の農家の経営が成り立つために、行政ができること	町 長
		2. 児童生徒数の減少の中における小学校の就学について	町 長 教育長
5	石山 貴美夫	1. リニア新幹線工事と町の将来について	町 長
		2. 町の防災対策について	町 長
		3. 町の医療関連について	町 長

※議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

発言順 1 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
杉山 広 充 議員	1. 教育行政に関して 【平成 3 1 年 3 月議会関連事項】	(1) 平成 2 9 年 1 0 月から約 2 年間、欠員となっている「保護者代表の教育委員 1 名」を、1 日も早く任命してほしい。大事な委員である。 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 3 条・第 4 条で規定されている。 昨年 9 月・今年 3 月議会でも質問した。 行政当局は、人事に苦慮しているが、早期に対応したいと答弁した。 しかし、現在も不在である。どうなっているのか。伺う。	町 長 教育長
	2. 小・中学校教育に関しての保護者の声の吸い上げについて 【平成 3 1 年 3 月議会関連事項】	(1) 今年 3 月議会で、小学校、中学校の統合・再編については、「現に子育てをしている 保・幼・小・中学校保護者の思い、生の声・本音を吸い上げてほしい」とお願いした。 行政当局は、「学校のあり方協議会の中で検討していく」と答弁した。 その後、どうなっているのか。保護者の声を吸い上げる努力、方策を講じたのか。伺う。	町 長 教育長
	3. 「学校の再編」について	(1) 本町では、ここ 1 年間に生まれた子どもは 1 0 数人と聞く。 少人数のため小学校において、教務担任と学級担任の兼務、複式学級担任が生じており、教員の負担が増大している。激務である。 また、小学校、中学校の校舎は、建築してからほとんど 4 0 年を超え、老朽化しつつある。 そしてまた、小学校 4 校、中学校 2 校の学校管理費と教育振興費は、合わせて年間約 1 億 6, 500 万円とおおきな経費がかさんでいる。 このようなことから、できる限り早期に、小学校 1 校・中学校 1 校の「小中一貫校」、更に、小学校・中学校合同の「義務教育学校」の検討に入り推進すべきと考える。 見解を伺う。	町 長 教育長

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
山本信之 議員	自治体財政状況について	(1) 財政調整基金について ・ 現在、今後の財政の厳しさ (2) 標準財政規模について ・ 本町の適した規模 (3) 各事業経費の圧縮、各施設の在り方について (4) 財政計画シミュレーションについて ・ 短期、中期、長期の見通し	町長

発言順 3 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑 議員	1. 本川根診療所の休院後の対応について	<p>(1) 今年の5月まで、本川根診療所に通院していた患者さんが、その後他の医療機関で受診できているかどうかを、町は把握しているか。</p> <p>患者さんが、受診が途絶えている期間が長いことで、深刻な状態にならないようなケアはいらぬか。</p>	町 長
	2. 子育て世代の定住化について	<p>(1) 昨年度、健康福祉課が「子ども支援事業計画に関するニーズ調査」を実施した。</p> <p>子育て世代が望む環境の中に、「公園の整備」が多くあるようです。これは以前から同世代から要望があったものです。町はこの結果をどのようにとらえ対応するのか、考えを伺う。</p> <p>(2) 現在、本町では第3子の保育料は無料となっている。これは、3人とも未就学児であることなどが条件(多子世帯に係る利用者負担額軽減の特例)。</p> <p>これらのしぼりを取り払うなど、規則の見直しが必要だと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 定住人口の増加を図る方策として、本町では「定住促進住宅建設助成」が設けられている。助成制度ができてから今までの実績をとおして、定住の為の土地取得等に対する新たな施策は考えているか。</p>	町 長
	3. 川根高校関連における経費について	<p>(1) 平成26年度から30年度までの経費を見ると、年々増加している。</p> <p>本町の財政から考えると、大変厳しい状況になりつつある。留学生の寮や、公営塾の運営に影響してくると予測される。</p> <p>抜本的解決策について伺う。</p> <p>(2) 「人材育成特別奨学金制度」が設けられている。高校の魅力化には効果は大きいと考える。更なる魅力化の為に、今後何が必要と考えているか。</p>	町 長 教育長

発言順4番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口直次 議員	1. 今後の農家の経営が成り立つために、行政ができること	<ul style="list-style-type: none"> ① 数字として厳しいとされているそれぞれの農家所得の実態を関係団体及び関係各課と連携して調査してほしい ② サラリーマン並みの所得を上げるため、当町としてJA等関係団体と協力して「いくつかの経営パターンを含め、今後の経営の方向性を示すことができないか ③ 農業に対する当町の手厚い助成事業は評価できる反面、今の茶況に合わせた見直しも必要ではないか ④ 生産農家の拠点、経営の幅を広げるにあたり、農林業センターの作物試験の結果を公表し、新規作物の試験栽培をさらに展開できないか。 ⑤ 収入保険の助成等、県町として具体的にすすんでいるか 	町長 町長
	2. 児童生徒数の減少の中における小学校の就学について	<ul style="list-style-type: none"> ① 現在複式学級を行っている小学校区に居住している児童は、その学区の小学校に入学しなければならないと考えられるが、複式学級での就学に不安を感じている町民がいると聞いている。町内の他の小学校に入学する手立はあるか ② 居住地以外の学区の小学校に就学することができるのであれば、どのような要件があるのか。 	町長 教育長

発言順5番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
石山貴美夫 議員	1. リニア新幹線工事と町の将来について	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでのリニア中央新幹線工事にかかるさまざまな状況が、連日広く報道される中、少なからず町民は、当町との関連について不安に感じてきているが、これまでの状況に鑑み、JR側の考え方をどうとらえているか。静岡市の考え方を、どうとらえているか。県の考え方をどうとらえているか。それらをふまえ町の考えは、メリットデメリットをどうとらえているか。 ・ リニア新幹線工事が、わが町にどのように影響し関わってくるかが予想されるのか。ユネスコエコパーク・原生自然環境保全地域など町の観光対策への影響、大井川の変化の予想と環境全般への影響、工事車両の通行予想と町内交通への影響予想をどう考えているか。 ・ 町内環境に大きな変化が現れてきてしまったときの対応、町内の生活用水への影響、沢枯れなど、現状の実態把握調査を確立しておく必要があるのではないか。 ・ 大井川への町民の思いを考え、水の番人と町のタイトルにもうたっている我町の歴史に立って、訴えるべきこととはなにか、水量変化への対策準備や、水質変化の予想と対応策、中電との協力関係等をどう考えているか。関連して大井川でのレジャー、釣り、キャンプ、カヌーなどへの影響をどう考えるか、また、大井川について漁協との連携はどうかとらえているか。 ・ 利水者である下流域の市町の発言は、あまり報道されないが、それをどうとらえているか。 ・ 早川町の状況から学ぶべきことは、どのようなことだと考えるか ・ 町として、今後の対応への決意を伺う 	町長
	2. 町の防災対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に広がるわが町では、毎年防災訓練を実施しているが、ややマンネリ化の傾向が出ているようにお聞きしている。今までの防災訓練をさらに一歩進めて、より現実的な対策、シミュレーションに基づいた、きめ細かな地区ごとの具体的対策、地区独自の問題点の洗い出しによる独自の対策、一人暮らしや介護度も加味した現実的対策を構築しなおし、これ 	

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
石山貴美夫 議員		にもとづく地区独自の、地区に合った対策訓練が必要ではないか。	町長
	3. 町の医療関連について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月議会で質問させていただいたが、本川根診療所の医師招致について、経過を伺う。 ・ 町内医療福祉スタッフ、看護師の充実について、各医院・診療所の現状を伺う。また、医療関係専門職は、県下不足状況のなか、高齢化の進むわが町のもっとも必要な分野でもある以上、どこより先んじた募集体制が必要と考える。募集方法で更に斬新な工夫をして、より早急な充実を望みたいが、対応は。 ・ 本町の地域性を考慮し、県立川根高校に医療・福祉の専門職を養成できる科の新設の可能性を伺う。 	町長